

令和五年度 事業報告

社会福祉法人 シルヴァーウィング

特別養護老人ホーム みさよほうす土支田

短期入所生活介護 みさよほうす土支田

ウィング練馬居宅介護支援事業所

I はじめに

平成22年4月開設以来、みさよはうす土支田は14年目を迎えました。これまで利用者の個性を大切に、小規模施設ならではの、きめ細やかなサービスと笑顔をモットーに取り組んでまいりました。地域に開かれ、地域に愛されるアットホームな特別養護老人ホームとして順調に推移しております。

令和5年度においては、利用者のニーズにきめ細かく対応することに尽力し、施設全体として年間稼働率は97.56%（別表7）となりました。

令和6年度は、利用者に対して、更なる高品質で付加価値の高い施設の運営を行ない、皆様から選ばれる業界随一の施設を目指してまいります。

II 特別養護老人ホーム「みさよはうす土支田」事業報告

1. 事業実績について

特養は定員30名に対し、令和5年度の月間平均入所者実人員は29名でした。新規入所者は9名、退所者は8名でした（表1）。また、平均年齢は男性79.9歳、女性87.6歳、全体で85.7歳であり、平均要介護度は、男性は要介護3.8、女性は要介護3.8、全体で要介護3.8となっています。入所者の趨勢的高齢化、重度化の傾向が窺われます（別表1～3）。

（表1）特養退所者の状況

No.	性別	年齢（退所時）	退所月日	退所後の居所
1	女	74歳	令和5年5月23日	死亡（一條久美）
2	女	97歳	令和5年6月17日	死亡（中出外枝）
3	女	93歳	令和5年7月6日	有料老人ホーム（西尾鈴江）
4	女	98歳	令和5年8月17日	死亡（津金君江）
5	女	81歳	令和5年11月22日	死亡（守屋和子）
6	女	96歳	令和5年12月3日	死亡（小池和子）
7	女	96歳	令和5年12月9日	死亡（山岸きみ子）
8	女	83歳	令和6年1月28日	死亡（長谷川紀子）

2. サービス内容について

（1）食事介助

入所者の食事摂取状況に応じて、食事の見守り、食事介助を行い、誤嚥や嚥下状態の低下傾向のある入所者については、適切な食形態の検討を行い、経口摂取の維持に努めました。なお、令和5年度末現在、食事介助を必要とする人が5名、食事形態別では、常食14名、一口大3名、きざみ食8名、ごくきざみ食3名、ミキサー食1名、胃瘻0名となっています。また、体調等を考慮し、居室配膳や居室での喫食を実施しました。

（2）入浴介助

入所者の身体状態に合わせ、令和5年度末現在、特浴7名、チェア浴18名、一般浴8名

の3機種の中からより安全な入浴方法を選び、月曜・水曜・金曜の週3回入浴を実施しました。短期入所生活介護においても、利用期間中は特養と同様に3機種で入浴を実施しました。

(3) 排泄介助

おむつ交換は、1日6回の定時交換（1時、5時、9時、13時、16時および20時）のほか、随時の個別確認、及びナースコールによる要請により実施しました。

(4) 栄養管理

特養入所者については、次の栄養ケアマネジメントを実施しました。

ア) 毎食後の食事摂取量の記録

イ) 月1回の体重測定（新規入所者は入所時）

ウ) 健康状態の把握

エ) 褥瘡の状態の把握（アルブミン値などから体内の栄養状態を把握し必要なケアを行う）

オ) 食事形態、食事の変更等の記録

カ) 必要栄養量・水分・たんぱく質量の算定、充足率を把握

(5) 健康管理

嘱託医による週1回の内科往診および月2回の精神科の往診、また外来診療が必要な場合は、ご家族付き添い等の協力により受診し、ご利用者が心身共に健康で充実した日常生活を送れるよう健康管理を行いました。

令和5年度は10月に健康診断を実施。また、希望されるご利用者に対して11月にインフルエンザ予防接種、新型コロナウイルスワクチン接種第6回7月、第7回11月に実施。

ご利用者に対して保湿、室温調整、脱水予防等を徹底すると共に、職員のうがい、手洗い、マスクの着用を励行し、感染症予防に取り組みました。

なお、当施設は機能強化型在宅療養支援診療所と提携しています。（これは、訪問診療に従事する常勤医師が複数名おり、厚生労働省で決められた厳しい実績を有し、1年365日24時間、連絡がつく体制のクリニックのことを指す。）

(6) 機能訓練・口腔ケア

ア) 機能訓練指導員を中心に、看護職員、介護職員、非常勤言語聴覚士等が連携し、身体、嚥下、言語等の機能面においてより充実したリハビリを実施しました。特に、機能訓練指導員は、個別機能訓練計画書に基づき、現在の身体状況を評価しながらリハビリを実施し、計画に変更が生じれば、介護職員にも実施要領を伝達し、併せて、車椅子やベッドでのポジショニングについても指導しました。また、非常勤言語聴覚士は、個別に話す、聞く、食べることについて、上職の連携によって指導され、集団での口腔体操により誤嚥予防のリハビリを実施しました。

イ) 訪問歯科医師による指示に基づき歯科衛生士が口腔ケアと口腔内評価を週1回実施、歯科衛生士より指導を受けた職員が日常の口腔ケアを実施しました。また、歯科診療については、その疾患や症状による必要性に応じ、ご家族の同意のもとで治療を実施しました。

(7) レクリエーション（行事・余暇活動）

季節行事は毎月1回、誕生会は3ヶ月に1回実施し、その他カラオケ、ボーリング、風船バレー、棒・タオル体操、ぬり絵、折り紙、各種ゲーム、映画鑑賞などを、職員とレクリエーション担当が企画運営し、入浴のない日の余暇時間を活用し実施しました。(表2)

(表2) 年間行事

	行 事 内 容
4月	映画観賞会
5月	母の日レク、映画観賞会
6月	お誕生会(4月・5月・6月生まれの方)
7月	七夕祭り
8月	納涼祭(童謡合唱、スイカ割り、ノンアルコールビールで乾杯) 花火大会
9月	映画観賞会、第一興商によるカラオケレク、 敬老会&収穫祭、お誕生日会(7月・8月・9月生まれの方)
10月	ハロウィンパーティを開催
11月	映画観賞会
12月	クリスマスパーティ&お誕生日会(10月・11月・12月生まれの方)
1月	職員による獅子舞:各フロアを回り、一年無病息災を祈って頭を噛む真似をしたりし、利用者の方々から喜ばれました。 書初め、映画観賞会
2月	節分祭(豆まき):鬼が2階と3階を巡回
3月	ひな祭り&お誕生日会(1月・2月・3月生まれの方)、映画観賞会。



●4・5・6月お誕生日会。



●女子お茶会。



●移動販売で買い物中。



●お正月で獅子舞い大暴れ中。



●音楽療法士による音楽会。



●節分・鬼退治。

3. ご家族等との連絡調整等

令和5年度は、新型コロナウイルスが第5類感染症に移行されたが、依然として発症者は続き、利用者の健康と安全を優先する趣旨で、1階ロビーで短時間・少人数限定の事前予約制で、ご家族の面会を実施しました。面会者数は、昨年度の248人（1日平均0.67人）に対して

今年度は 人（1日平均 人）となった。

4. 委員会等実施状況

令和5年度は、施設運営におけるカテゴリー毎に各種委員会を開催し、課題検討等を実施しました。（表3）

（表3）委員会開催実績

委員会名	内 容
栄養委員会	利用者の栄養状態評価、食形態等の検討
口腔ケア委員会	口腔内の衛生保持、口腔ケア実施状況確認と周知徹底
感染症対策委員会	施設内外の環境衛生、感染症への対応と予防
褥瘡対策委員会	褥瘡の評価、処置内容、予防対策の検討
身体拘束適正化委員会	身体拘束の事例研究、適正な手続の学習（毎月開催）
事故防止委員会	事故の検証と再発防止の方策検討
防災対策委員会	防災活動と災害時の対応等に関する検証
リハビリ委員会	個別機能訓練の実施状況、機能評価、計画の検討
レクリエーション委員会	行事・余暇活動の計画立案、実施の検討
ボランティア活用推進委員会	ボランティアの活用検討、登録に関する確認
入所判定委員会	入所待機者の情報共有、入所選考
職員会議	施設の運営・管理に関する検討と連絡
安全衛生委員会	職場の安全確保、職員の健康管理に関する検討
研修委員会	職員の研修・教育・指導に関する検討

5. 職員研修

職員が交代制勤務であるため、全員が一斉に集合研修へ参加することが困難であり、受講終了後の伝達研修、動画による図上研修、e-ラーニングの活用による自主学習、ZOOMによる法人研修（表4）を工夫し実施しました。e-ラーニングに関しては、お茶の水ケアサービス学院が主催するカテゴリー別の研修項目を、各自の弱点を克服する目的で受講を推進しました。

（表4）法人研修（講師・勝野理事） 毎月第2月曜 18：00～18：30

No.	名称	開催日	参加人数
1	身体拘束廃止・虐待防止について	令和5年4月10日	6名
2	事故防止への取り組み	令和5年5月15日	6名
3	新型コロナウイルス及びその他の感染症対策	令和5年6月12日	6名
4	脱水・熱中症予防・水分補給について	令和5年7月10日	6名
5	特別養護老人ホームにおける看取り介護	令和5年8月14日	2名
6	特別養護老人ホームにおける褥瘡・スキンケア	令和5年9月11日	7名
7	新型コロナウイルス及びその他の感染症対策	令和5年10月9日	4名
8	高齢者虐待防止に向けた取り組み	令和5年11月13日	7名
9	福祉施設におけるリスクマネジメント	令和5年12月11日	6名

10	認知症高齢者の理解について	令和6年1月8日	6名
11	新型コロナウイルス、インフルエンザ及びその他の感染症対策について	令和6年2月12日	7名
12	特別養護老人ホームにおける看取り看護について	令和6年3月11日	7名

6. ボランティアの受入れ

平成25年度に制定した「ボランティア活用推進要綱」に沿って受け入れを推進してきましたが、令和5年度は、新型コロナウイルスの蔓延予防の観点から、大幅に活動は縮小傾向にあり、実施は傾聴ボランティアの活動のみとなりました。新型コロナウイルスが第5類に移行された後も、感染症に対する従来からの対応方針は継続し、検温や三密回避、ソーシャル＝ディスタンスの維持、マスク励行や消毒の徹底により、飛沫感染防止対策を実施しました。

7. 実習生の受け入れ

平成25年度に制定した「介護実習生等受け入れ要綱」に沿って受け入れを推進してきましたが、令和5年度は、教員免許状の取得を希望する学生を介護等体験の実習生として受け入れる実績はありませんでした。

8. 職場体験事業希望者の受け入れ

令和5年度は、東京都福祉人材センター職場体験事業からの紹介による受け入れ要請は0名でした。また、練馬区立大泉学園中学校からは職場体験学習の依頼があり、2学年生徒4名を受け入れました。なお、活動にあたり生徒には抗原検査を実施する等、感染対策について学校の協力も得ながら徹底して行ない、無事に2日間の行程を終了しました。

9. インターンシップの受け入れ（主催：TOKYO かいごチャレンジインターンシップ事務局）

介護業務への就労を希望する者を施設が受け入れ、介護サービスや業務内容の理解を深めてもらい、介護職場への定着を図ることを目的とする職場体験事業について、令和5年度は実習生2名の受け入れ要請がありましたが、いずれも希望者自身の都合により中止となりました。

10. 実績の見られた有効な介護ロボット

施設として導入を推進している介護ロボットについて、その導入事例や効果に関する研究事業にも参加してきましたが、実際に有効的な結果を示している介護ロボットは（表5）に示す通りとなります。

（表5）みさよはうす土支田で現在使用されている有効なロボット機器一覧

種類	会社	機種	配置数	利用数	備考
機能訓練	モリトー	POPO	1	1	
機能訓練	モフトレ	MOFF	1	1	
移乗支援	パナソニック	リシヨーネ	1	1	
移乗支援	パナソニック	リシヨーネ(旧型)	1	1	
移乗支援	ケアフォース	サテライト・サラスティ	1	1	

移乗支援	イノフィス	マッスルスーツスタンドアロン	1	1	
コミュニケーション	富士ソフト	PARLO	4	4	
コミュニケーション	(株)知能システム	PARO	2	2	
見守り支援	ノーリツプレジジョン	NEOSCARE(サーバ)	1	1	
見守り支援	ノーリツプレジジョン	NEOSCARE(42	42	
見守り支援	パラマウントベッド	眠り scan	42	42	
見守り支援	(株)トラックモ GPS	トラックモ	2	2	
移動支援	RT ワークス	RT1	1	1	
排泄支援	リバティソリューション	RT2	1	1	
排泄支援	アロマ化成	キューレット	2	2	
排泄支援	フランスベッド	HELPPAD	12	12	

1.1. 地域貢献（連携）

(1) 東京子育て応援事業

平成28年9月から、公益財団法人東京都福祉保健財団の助成を受けて、地域に対する社会貢献の一環として、「子ども食堂」を特養施設内で運営してきました。平成29年6月から「子ども食堂」と併せて、「そろばん教室」を開始しています。令和5年度は近隣の小学校や学童クラブへ広報活動を展開しましたが、新型コロナウイルスによる影響とみられる行動自粛傾向から、利用実績には至りませんでした。

(2) 環境美化活動

地域の美化活動に貢献するため、以前に練馬区の環境美化活動団体として結成登録した「みさよはうす土支田おそうじ隊」や、練馬区が毎年5月と11月の最終日曜日に定めている区内一斉清掃事業日（ごみゼロデー）については、いずれも令和5年度は活動に参加できなかった為、施設として自主的に隣接公園との境界区域、施設に接する公道全体の路肩清掃、道路標識に接する樹木伐採等を行い、付近の景観整備と安全確保に努めました。

Ⅲ 短期入所生活介護 みさよはうす土支田 事業報告

1. はじめに

短期入所生活介護は定員2名ですが、特養入所者の入院等で生じた空床利用を含めて、年間延べ利用者数は、男性37名、女性152名、合計189名でした（別表5）。令和5年度の新規利用者が41名であった。新規利用者がリピーターとして定着しない事が課題ではありますが、令和5年度も単発利用で終了するケースは少なくなく、施設のイメージ向上とアピールを推進していくことが更に求められると思われます。

ご利用者の平均年齢は、男性80.4歳、女性83.4歳、全体82.8歳だった。若干の低年齢化と思われます（別表4）。また、要介護度の平均は、男性は要介護3.6、女性は要介護3.9、全体は要介護3.8でした（別表6）。キャンセル待ちや定期利用をされる希望者向けに、空床が発生し次第に随時更新情報を発信し、迅速なご利用に努めました。また地域包括支援

センターや居宅介護支援事業所より要請される緊急利用に対して、送迎対応も含めて臨機応変に対応してきました。令和5年度の年間利用率は、98.75%でした（別表5）。

2. サービスの実施状況

(1) 事前面接調査による生活像とニーズの把握

ご利用される期間は、快適な施設療養をして頂くため、医療処置の有無、日常の介護方法、ご家族の要望等を事前面接で聴取し、職員間で情報共有を図り対応しました。

(2) サービス担当者会議への参加

居宅サービス事業者の一員として、ケアマネージャーが主催し各サービス事業者が集う機会に積極的に参加し、相互での情報提供と共有に協力しました。

(3) 居宅と施設間の送迎

送迎の方式はドア・ツウ・ドアを基本とし、送迎区域や曜日・時間帯を限定せず送迎サービスを実施しました。

(4) その他

ア) 入浴は、月曜・水曜・金曜の中で利用期間中に実施しました。

イ) ご利用期間中には、その形態にとらわれず、機能訓練指導員による個別機能訓練を必ず実施し、令和5年度の実績は延べ345人でした。

ウ) ご利用期間中は特養で実施されるサービスや催事に参加して頂きました。

IV ウィング練馬居宅介護支援事業所 事業報告

【期間】 令和5年4月1日～令和5年7月31日

【職員在籍者（令和5年4月30日現在）】

管理者（1名）

介護支援専門員（1名）

【利用者数、居宅支援費実績報告】 国保請求分

年/月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	要支援 委託支 援費	要介護居 宅サービ ス費合計 請求額
R5/4			9名	5名	1名			15名		98,885
R5/5				1名				1名		12,226
R5/6										
R5/7				1名				1名		12,226

【介護保険要介護認定調査委託料】

実施期間：令和5年4月1日～令和5年4月30日 計 名4,400円 合計 円

(別表1)

＜年度末平均年齢＞

性別	人数	平均年齢	年齢分布
男	4	81.5	78～89
女	26	83.6	86～90
(全体)	30	82.6	78～90

(別表2)

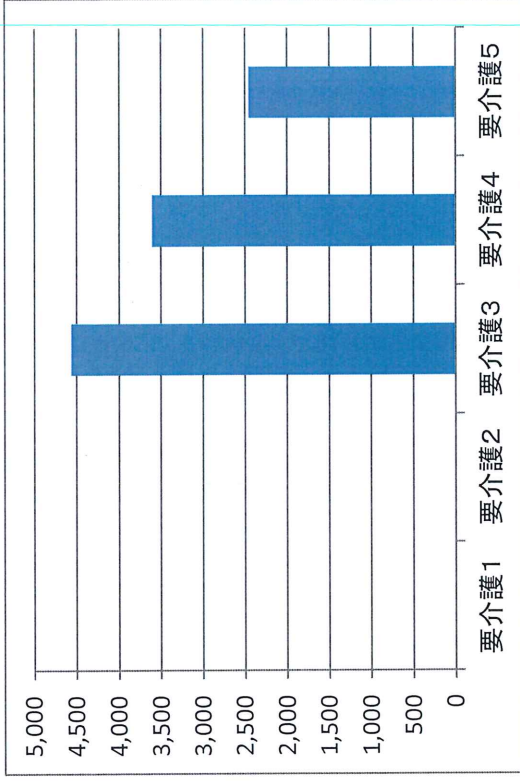
＜月別利用者の状況＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1													
要介護2													
要介護3	330	341	317	322	342	378	403	390	384	457	435	465	4,564
要介護4	358	364	333	347	327	300	310	292	279	276	203	217	3,606
要介護5	210	217	214	217	217	210	217	210	195	186	174	186	2,453
計	898	922	864	886	886	888	930	892	858	919	812	868	10,623
要介護平均	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8
実人員数	898	922	864	886	886	888	930	892	858	919	812	868	10,623
延べ定員数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	870	930	10,980
1日平均利用者数	29.9	29.7	28.8	28.2	28.6	29.5	30.0	28.8	27.4	29.4	29.0	29.0	29.0
稼働率	99.77%	99.13%	96.11%	93.87%	95.26%	98.33%	100.00%	95.88%	91.39%	97.95%	96.66%	96.66%	96.75%

(注)本表では、在籍日数により算出しています。

令和5年度

(別表3)

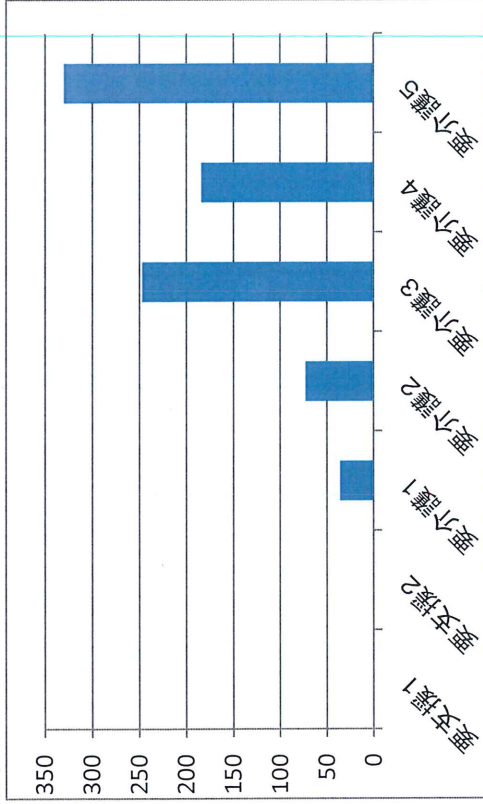


(別表4)

<年度末平均年齢>

性別	人数	平均年齢	年齢分布
男	4	80.4	73～84
女	13	83.4	81～87
(全体)	17	82.8	77～86

(別表6)



(別表5)

<月別利用者の状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
シヨートステイ (介護予防含む) (定員2名)													
要支援1													
要支援2													
要介護1	9	2			10					14		1	36
要介護2			15	11	14	17	1	9	1	4		1	73
要介護3	14	6	10	18	42	4	8	10	41	43	46	5	247
要介護4	11	21	46	22	23	14	4	16	20	2	4	1	184
要介護5	30	41	16	30	24	31	33	32	46	17	26	4	330
計	64	70	87	81	113	66	46	67	108	80	76	68	926
要介護平均	3.7	4.1	3.8	3.8	3.4	3.8	4.2	4.1	4.1	3.5	3.9	5.0	4.0
実人員数	64	70	87	81	113	66	46	67	108	80	76	12	870
延べ定員数													0
1日平均利用者数	2.1	2.3	2.9	2.6	3.7	2.2	1.5	2.2	3.4	2.6	2.2	1.9	29.5
稼働率	100.00%	100.00%	99.00%	97.00%	101.00%	99.00%	98.00%	100.00%	97.00%	101.00%	99.00%	109.70%	100.06%

(注) 本表では、利用日数により算出しています。

令和5年度

